

病 院 長 の ご 挨拶

新潟県厚生連小千谷総合病院 病院長 柳 雅彦

こんにちは。

2021年4月より厚生連小千谷総合病院の新病院長を拝命致しました、柳雅彦と申します。

皆様のご理解とご支援を頂きながら、地域医療・保健・福祉の発展に尽力したいと思っております。よろしくお願いいたします。

皆様、ご存じのとおり、当院は公益財団法人小千谷総合病院と厚生連魚沼病院の2病院の統合という形で2017年4月にスタートをきっています。

この統合の過程には紆余曲折あり完遂に10年近くを要しています。

経営主体の異なる病院同士の統合はほとんど前例がなく、事業の推進に困難を極めたようですが、関係諸機関のご理解とご協力が結実し、ようやく新病院として開院した経緯であります。

ご協力をいただきました皆様には、あらためて深く感謝申し上げます。

さて、現在は新型コロナウイルス感染症の蔓延対策が、医療や保健衛生としての範疇を越え経済や政治としても喫緊の課題であることは皆さんご存知のとおりです。

当地域は新型コロナウイルス感染が比較的少なく経過している地域ですが、開院から5年目を迎えた当院でも、ウイルス検査やワクチン接種などの対策について積極的に参画し、一日でも早いパンデミックの収束を願いながら診療を行っております。

このように「小千谷・北魚沼地域の医療・保健・福祉」の拠点として、素晴らしい「舞台」を用意いただいたと思っております。その素敵で、大切に思っています職員たちとともに舞い踊ってみたいと思っております。よろしくご支援をお願い申し上げます。



地域連携支援部 チーフマネージャー 水落 範子

日頃より当院の病診連携につきましては、ご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

4月より地域連携支援部のチーフマネージャーとなりました、水落範子と申します。地域連携支援部は患者サポートセンター、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、ソーシャルワーク科から構成されており、外来から入院、入院から退院、そして

在宅に向けてのサービス提供、在宅に戻ることが困難なケースの相談にのりながら支援を行っています。予約入院に係わる窓口となり、入院前から患者様の状態把握に努め、患者様の声を聴き、外来・病棟・コメディカルと連携を図っていきたく思います。

地域の方々に満足していただけるよう、丁寧な対応に心がけていきたく思いますので、今後とも宜しくお願いいたします。





新任医師のご紹介



消化器外科 大溪 彩香

初めまして。

2021年4月1日より小千谷総合病院で勤務しております、外科の大溪 彩香

(おおたにあやか)です。

出身は秋田県秋田市で、秋田大学を卒業後、秋田厚生医療センターで初期臨床研修を行い、新潟大学消化器・一般外科に入局しました。専攻は消化器外科です。

2018年度・2019年度は同じ厚生連の村上総合病院で勤務し、昨年2020年度は出産のため1年間お休みをいただいております、今回小千谷総合病院で仕事復帰となりました。

4歳と0歳10ヶ月、2人の男の子の母でもあります。このような経験も活かして、皆様の生活に寄り添った診療ができたらと思っております。

当科は消化器癌(胃癌・大腸癌)の手術や化学療法を中心に診療を行っております。

他にも、胆嚢結石症や虫垂炎、痔核などの肛門疾患、鼠径ヘルニアといった良性疾患も対象となります。

ガイドラインに沿って適応を判断し、侵襲の少ない腹腔鏡手術も積極的に取り入れていきたいと思っております。

必要があれば、より高次の病院へ紹介させていただくこともあります。

また、痔核で悩んでいるけれど恥ずかしくて受診できない・・・といった女性の方、女性医師が担当することは珍しいと思っておりますので、この機会に一度気軽に受診してみてください。

小千谷地域の医療の一助となるよう診療に励みたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。



脳神経内科 坪口 晋太郎



初めまして。

脳神経内科の坪口 晋太郎(つぼぐち しんたろう)と申します。

週1回、水曜日の外来診療を担当させていただきます。出身は福井県福井市です。

地元の福井大学を卒業したのちに、新潟で神経学を深く学びたいと一念発起し、新潟大学研究所 神経内科に入局しました。

この度、神経内科教室の大先輩である登木口進先生のもとで診療ができることをとても嬉しく思っています。

趣味は、野球観戦・テニス・歴史(特に幕末と近代)です。好きなチェーン店は「8番らーめん」ですが、新潟県は上越市の店舗を最後になくなってしまい、残念に思っています。

私の診療における目標は全人的医療を実践することです。

病気を診るのはもちろん、患者さんを取り巻く環境や社会的背景を含めて、総合的に診ることを目指しています。

患者さん・ご家族・病院スタッフ・訪問看護師・施設の方・ケアマネさんなど、患者さんに携わる方みんなと相談しながら、よりよい環境を調整していきたいと思っております。

小千谷地域の医療に少しでもお役に立てるよう、精いっぱい頑張りたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。



内分泌代謝内科 橋本 浩平



はじめまして。

2021年4月から毎週木曜日の内分泌代謝内科外来を担当させていただきます、新潟大学歯学部総合病院より参りました 橋本浩平 と申します。

医師9年目です。

これまで新潟県立中央病院、新発田病院、新潟市民病院などの県内の基幹病院を中心に勤務しておりました。

糖尿病をはじめ、高血圧症や高尿酸血症、脂質異常症などの生活習慣病から甲状腺疾患や副腎疾患などの内分泌疾患について診療させていただいております。

糖尿病有病者は年々増加傾向にあり、それに合わせて重症の患者さんや治療に難渋する患者さんも日々増えてきているのではないかと推察されます。

そのように治療にお困りの症例や合併症精査を必要とする症例などございましたら、お気軽にご相談いただければ幸いです。

かかりつけの先生方にお力添え賜わりながら、内分泌代謝内科医師として医療連携を継続的に実践していきたい、患者さんたちの利益となるように精進していきたいと考えております。

少しでも皆様のお役に立てるように診療に取り組んでまいりますので何卒宜しくお願申し上げます。



腎臓内科 宮崎 慧



はじめまして。

この4月から小千谷総合病院に赴任してまいりました。

腎臓を中心とした内科業務に携わっております。

急性腎障害、急性および慢性の腎炎、慢性腎臓病をはじめとして、健診異常の方に対しても早期に介入できればと考えております。

慢性腎臓病は生活習慣、加齢、腎炎など様々な要因による慢性の腎機能低下を包括する疾患概念です。一見すると腎機能は安定していても、尿所見がある場合は腎炎が隠れているといったことはあります。

そのような方に対しては必要に応じて腎生検も行っております。

また、腎炎でない方に対しても食事指導、生活習慣病に対して早期に介入することで、将来的に透析を回避、透析導入まで遅らせることができると考えております。

患者さんの将来的な生活、人生設計にも関わることなので早めの対応が重要になってきます。

日々の診療で疑問を感じる事があればご紹介いただければ幸いです。

編集後記

気持ちのよい季節となりました。

感染症対策をしながら色々楽しみたいものです。

ワクチンの予防接種も始まり、新型コロナウイルス感染症の収束を願います。





舌下免疫療法開始しました

～ 耳鼻咽喉科外来 よりお知らせ ～

いつも患者さんをご紹介いただきありがとうございます。小千谷総合病院耳鼻咽喉科の吉崎直人です。
2021年2月から当科でも「舌下免疫療法」を開始させていただきましたので、今回はそのご紹介をさせていただきたいと思います。

日本国内でも以前から減感作療法は行われておりましたが、より安全に行える手法として舌下免疫療法が研究されておりました。

2014年にスギ花粉症に対するスギ花粉舌下液が発売されてから行われる施設が増加し、現在ではスギ花粉舌下錠とダニ舌下錠が販売され、講習を受けた医師が登録の上で舌下免疫療法を行う事が可能となっております。新潟県内でも処方可能な施設が多数ありますが、現在まで小千谷市内では処方できる施設がなく、当科にも舌下免疫療法を行っているのか問い合わせが来ることもありました。

このような問い合わせが複数回あったため、このたび再度講習を受けて当院を処方可能な施設として登録させていただき、当院でも舌下免疫療法を行う事が可能となりました。



舌下免疫療法は対象となる抗原を摂取していただき減感作を行う治療ですので、治療を開始する前にアレルギーの原因を突き止め、原因が確実にスギまたはダニであることを確認する必要があります。

当科では血性抗体検査を行い、検査結果を確認させていただいたうえで治療を行わせていただく予定です。

検査結果がスギ花粉症やダニへの反応でない方の場合は、舌下免疫療法の対象とはならず、従来通りの薬物治療をお勧めさせていただきます。

薬物治療で改善が乏しい方に対しては、症状や所見によっては手術治療をお勧めさせていただく場合もあります。舌下免疫療法の対象となる方には、上記の薬剤を処方させていただくのですが、アレルギー反応を生じる可能性もあるため、初回投与時には院内で服用していただき、30分程度様子を見せていただく必要があります。

また、舌下免疫療法は最低3年以上毎日継続して行う事が推奨されております。

しばらくの間根気よく治療を続けていただく必要があるため、希望される方はこの点もご留意いただければと思います。また、服用後5分程度はうがいや飲食を避けていただく必要があり、服用前後2時間は飲酒や激しい運動、入浴などを控えていただく必要もあります。

スギ舌下錠はスギ花粉が飛散している時期には開始できませんが、例年通りであれば5月中旬以降であれば開始可能と考えます。

治療を希望される患者さんがいらっしゃいましたら、ご紹介いただけますと幸いです。

病診連携よりご案内いたします

舌下免疫療法のご依頼方法

1. 当院の「紹介患者事前申込書」にて、お申込みをお願いします。
2. 診療科の耳鼻咽喉科を○で囲んでいただきご紹介目的の欄に「舌下療法希望」とご記入後紹介状と一緒に申し込みください。

